

《小学校高学年の部 優秀賞》

「よい良い有田市のため」

有田市立宮原小学校 6年

たかがき
みと
高垣 未翔 さん



私は、学校へ歩いて登校している。その時たくさんさんの車とすれ違う。それらの車の中には高齢の方が運転している車もある。最近、テレビや新聞などで、高齢ドライバーの事故が相次いでいると報道されている。高齢ドライバーの多いこの有田市でも、いつこのような事故が起きるか分からない。

私の住んでいる地域では、買い物に行くのも、病院に通院するのも、車が必要不可欠だ。今、運転免許証を返納する高齢者が増えてきているとニュースで知った。だが、運転免許証を返納した高齢者がいたとしても、これから先、その高齢者の方は、この有田市で、よりよい生活を送ることができるようか。もし、私の祖母が、今日、運転免許証を返納したとする。では明日からの祖母の買い物や通院は、誰が連れて行ってくれるのだろうか。私が高齢者宅訪問でうかがった高齢者の方は、買い物や通院などは、娘に車で送りむかえをしてもらっているとお話ししてくださっていたが、私の家では、それは難しい。私の両親は、共働きで、毎日送りむかえをすることは、とてもできないからだ。

そのようなやんでいたところ、父が、有田市にはデマンドバスがあると聞いてくれた。確かに有田市の各地をデマンドバスが回っており、利用すると、とても便利だ。しかし、残念ながら、デマンドバスは運行数が限られている。では、このデマンドバス以外にも良い方法はないだろうか。

そこで、私は、次のような方法を思いついた。それは、高齢者の方を買い物に連れていくボランティアだ。例えば、高齢者の方が買い物などに行きたい時にボランティアに電話をすると連れて行ってくれるしくみがあれば、便利だと思う。他にも、代わりに買い物に行ってくれるボランティアもあれば、より、高齢者の方は、気楽に生活することができると思う。また、ボランティアだけでなく、地域の人達で高齢者の方々を支える気持ちを持つことも大切だと思う。

このような、支え合いをキーワードとしてよりよい有田市を作っていくことはできないだろうか。私は、できると強く信じている。高齢者宅訪問やなごみ訪問などで、高齢者の方々は笑顔でむかえてくれた。その笑顔を見て私は、自分ができることはやろうと思った。そんな思いをみんなが持てば。さらにより良い有田市になると思う。だからみんなを支え合っていくことが可能だと思う。

より良い有田市をつくっていきましょうと思う。